阿賀野川水系流域懇談会 第2回上流部会

議事次第

平成 21 年 7 月 14 日 (火) 14:00 ~ 16:00 会津若松市文化センター 美術実習室 2

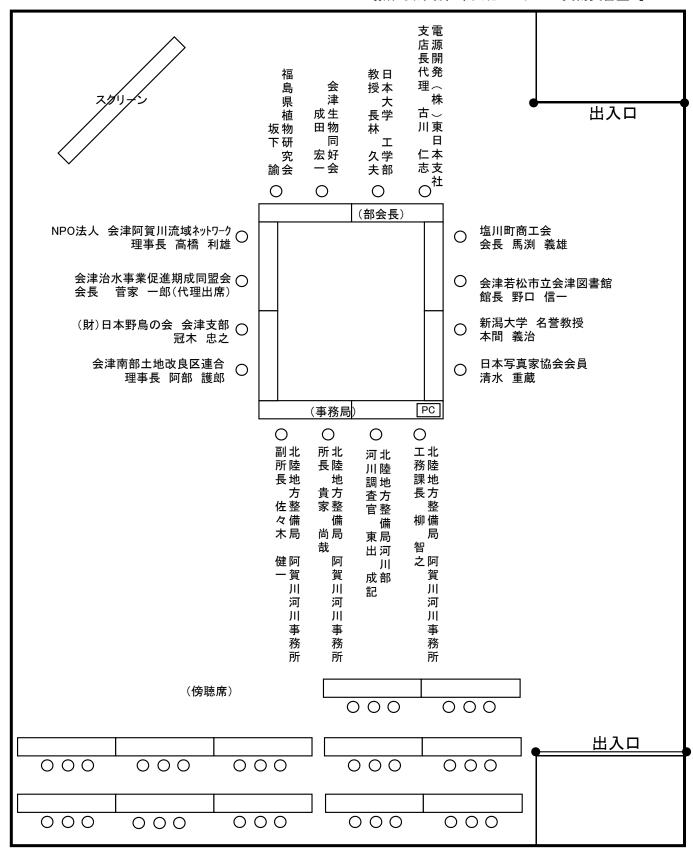
- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 出席者の紹介
- 4 議事
 - ① 阿賀野川水系流域懇談会 第1回上流部会 議事報告
 - ② 住民からの意見聴取実施報告(最終報告)について
 - ③ 骨子(案) について
 - ④ その他
- 5 閉 会

配布資料リスト

- 議事次第
- ・座席図(出席者名簿含む)
- ・資料-1 第1回上流部会 議事要旨
- ・資料-2 地域住民(阿賀川沿川等)からの意見聴取結果について(最終報告)
- ・資料-3 阿賀野川水系 (阿賀川) 河川整備計画の目標設定と計画メニューの 骨子 (案) について
- ・資料-4 阿賀野川水系阿賀川河川整備計画 骨子(案)について
- ・資料-5 阿賀野川水系河川整備計画の策定フロー(今後のスケジュール)
- ·参考資料-1 基本方針小委員会検討資料(正常流量)

阿賀野川水系流域懇談会 第2回上流部会 座席図

日時:平成21年7月14日(火) 14:00~16:00 場所:会津若松市文化センター「美術実習室2」



阿賀野川水系流域懇談会 第2回上流部会 出席者

日時: 平成21年7月14日(火) 14:00~16:00 場所: 会津若松市文化センター 美術実習室2

		阿賀野川水系流域懇談会 委員	
	氏名	所属·役職	出欠
	阿部 護郎	会津南部土地改良区連合 理事長	0
	冠木 忠之	(財)日本野鳥の会 会津支部	0
	菅家 一郎	会津治水事業促進期成同盟会会長	0
	(代理 安部 綱一)	(会津若松市 建設部長))
	坂下 諭	福島県植物研究会	0
	高橋 利雄 ※1	NPO法人 会津阿賀川流域ネットワーク 理事長	0
上流部会委員	長林 久夫	日本大学工学部 教授	0
	中村 玄正	日本大学工学部 学術フロンティア事業研究員	_
		(日本大学工学部 前教授)	
	成田 宏一	会津生物同好会	0
	野口 信一	会津若松市立会津図書館 館長	0
	古川 仁志	電源開発(株)東日本支店 支店長代理	0
	馬渕 義雄	塩川町商工会 会長	0
下流部会委員	本間 義治	新潟大学 名誉教授	0
	清水 重蔵	日本写真家協会会員	0

※1 齋藤委員より高橋委員へ変更(理事長が変更となったため)

事務局		
氏名	所属•役職	出欠
東出 成記	北陸地方整備局 河川部 河川調査官	0
齋藤 充	北陸地方整備局 河川部 建設専門官	0
田澤 信行	北陸地方整備局 河川部 河川計画課 計画第二係長	0
貴家 尚哉	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所長	0
佐々木 健一	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所 副所長	0
柳 智之	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所 工務課長	0
清水 喜博	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所 工務課 調査係長	0
加藤 薫	北陸地方整備局 阿賀川河川事務所 工務課 調査係	0

阿賀野川水系流域懇談会 第1回上流部会

議事要旨

開催日時: 平成21年3月24日(火)13:30~15:30

場 所:会津若松市文化センター

議事次第:1. 開会

- 2. 挨拶
- 3. 出席者の紹介
- 4. 規約について
- 5. 部会長の選出
- 6. 議事
- ①第1回阿賀川沿川自治体懇談会の開催報告について
- ②地域住民への意見聴取について(中間報告)
- ③現状と課題及び対応案について
- 4)その他
- 7. 閉会

【主な意見】

議事①:第1回阿賀川沿川自治体懇談会の開催報告について

(委員A)

▶ 袋原の水質悪化に対して再生できないかと自治体から要望があるが、河川管理者として受けたということか。

(事務局)

➤ そういったご意見ご要望があったということでご紹介させていただきましたが、国で管理している河川区域ではないことから、河川管理者として直接的に何かをすることは難しいが、間接的にはいろいろ協力することはできると考えている。特に、整備計画の対象区間ではないので、直接的に対策するということは盛り込めないけれども、水環境ということで一連の所なので、今後の検討課題と考えている。

議事②:地域住民への意見聴取について

(委員B)

▶ カワウは随分増えているが、カワウに対して何か対策を実施しているか。

(委員C)

➤ 福島県が主体となったカワウ対策協議会があり、毎年決められた数の捕獲や調査を行っている。協議会は、環境省が主体となって、関東地区、静岡県から福島県までの広域的な組織である。県内で一昨年300羽、昨年800羽と、年々捕獲数は増加して

いるが、総数としては殆ど変化していないのが実情である。

(事務局)

▶ 現在のところ、河川管理者としての対応はとっておらず、漁協でテグスを張って対応しているのが現状である。川の中に線が張られていることは危険であり、河川管理上は望ましいものではないので、河川管理者として、他に良い方法はないか議論していきたいと考えている。

議事③:現状と課題及び対策案について

(部会長)

▶ 狭窄部掘削による水位低下だけで内水は解決できるのか。

(事務局)

- ▶ 河川の水位が低くなれば、樋管閉塞時間が短くなるため、内水被害を抑えるためには、 河川の水位を下げるのが一番の方法と思う。狭窄部掘削で内水はゼロにはできないが、 被害を大幅に減らすことができるため、効果として考えている。
- ▶ 内水により住宅地に被害が生じる場合には、ポンプ場を作ることも考えられるが、費用対効果の関係から難しい。

(部会長)

▶ 湯川洗堰の目的は、旧川への分派であるが、それが、困難になってきたというのはどういうことか。

(事務局)

▶ 旧湯川の樋管で水位を今後調節し、旧湯川に適切な流量が流れるようにしている。湯川洗堰自体の老朽化により、その調節が適切にできなくなる。また、堰自体が本来下げるべき河床より1m程度高く、上流に堰上げを起こしていることから、早期の改築が必要となっている。

(部会長)

▶ 宮古橋より上流区間で偏流対策が必要ということだが、樹木の計画的な管理で、具体的にどのような対応をすれば偏流対策となるのか。

(事務局)

▶ 例えば、河川中央の固定化された高水敷を伐採と併せて掘削し、川の中央に流れを寄せるような対策が偏流対策として有効なのではないかと考えている。

(委員A)

▶ 治水・利水・環境に分けて議論しているが、相矛盾している部分がある。水を多く流す時期は同時に多く取水しなければいけない時期でもあることから、樹木は繁茂する。水がもし多く流れていれば、根を出す時間もなく流れていくと考えられる。少ない水を多量に使わざるを得なくなった生活を含め、やはり治水・利水・環境だけではなく、生活という部分が入ってこないと、なかなか解決しない問題であろう。

と思う。

▶ 阿賀川は流域の財産なので、みんなが納得する上で、住民意見、治水、利水、生物保全も含め、長い時間をかけてこういう検討会をやっていただければ大変ありがたい。

(事務局)

- ➤ 河川整備計画は何年かごとに見直していくものであるので、その意味では長い時間を かけて、議論していくものと考えている。
- ▶ 治水、利水、環境は一体となっており、それと生活も併せて考えるべきだというご指摘で、樹木繁茂の対策でもそういうことを考えた対応をしたいと考えている。

(委員A)

➤ 正常流量は宮古橋地点で3m³/s と記載されているが、宮川が合流した分を加算してそうなっているのであれば、その上流では魚が住めるだけの水量があるのか。地点ごとの水深や川幅などのデータが示されてなく、議論ができない。生物に対して安全なのか危険なのかといったことが分からないので、これらのことが分かるような資料の提供をお願いしたい。

(事務局)

➤ 正常流量については、馬越地点から縦断的に各地点で生物環境が満足するかというようなことを個別に検討した結果、3 m³/s という結果となったものである。この値については、今後見直していく必要があると考えており、対応策として「河川環境保全のために必要な流量の調査検討」という項目を入れている。

(委員D)

▶ 魚類の面から見れば生息種は管理区間で分断されるわけではないので、整備計画において、県と国とのすり合わせはしておく必要がある。また、ダムについても大川ダム、下流の3ダム(新郷、山郷、上野尻)があり、これらは地域住民にとって密着した関係になっている場所もあるので、地域との連携やダムの環境なども整備計画の中に含めた表現とする必要があるのではないか。

(事務局)

▶ 2年前に策定した河川整備方針で、流域の特徴や整備の基本的方向性を出している。 整備計画は管理区間を対象として作成するものであるが、対象区間外の扱いについて は、整備計画の中にどのように取り組んでいくか、検討の余地がある。

(委員D)

▶ 「河川環境の整備と保全」という項目があるが、湧水がありイトヨが生息しているような場所は、「阿賀川らしさ」として最も大事な場所なので、そこは聖域として保存するような考え方があってもいいのではないか。

(事務局)

▶ 治水、利水、環境のバランスを良く考え、慎重に検討していきたい。

(E委員)

- ▶ 河川の維持流量については、水生生物の保護の視点は生活に密着した大事なものなので、今後の検討をよろしくお願いしたい。
- ▶ 阿賀川本川を幾ら下げても、洪水時には日橋川からの水が阿賀川に注ぐと堰止められ、水位が上昇している。全体のバランスを考えた形でないと、阿賀川だけで流量調整をしても対応しきれないのではないか。現に内水被害(水田等浸水)が発生している。

(事務局)

- ▶ 計算上は日橋川合流を含めて水位がどうなるかという予測を行って、堤防高や必要な河川の断面積を設定しているため、それを含めて現地を確認していきたい。
- ▶ なお、田圃でも内水を全部排除してしまうということになると、いくらお金があっても足りないという状況です。内水はある程度許容してもらわなければいけない部分は全国的にもある。家屋が浸水する所はポンプを設置するなどの手立てはやっているところです。

(委員F)

- ➤ 会津地域や阿賀川流域で実施している市民活動と行政との関係が不明確である。行政を含めて民間の団体は多くあるので、これら市民団体等の横の連携が図っていけるような仕組みをもう少しつっこんで書けないか。
- ➤ 川は変化していくという前提に立てば、固定的な手法で問題に対応するというよりも、これらの変化に対応できるような柔軟な考え方を盛り込んだ方がいいのではないか。また、100~200年前の阿賀川と地域の人々との関わりや対応法なども参考とする必要があるのではないか。

(委員C)

▶ 阿賀川管理区間だけ改修を実施して流量を下流に流した場合、福島県管理区間や更にその下流で対応しきれるのか。

(事務局)

➤ 下流狭窄部の改修により、下流の新潟県区間に対し、流量は増大するが、その影響は わずかであるとともに、下流部でも受け入れられるように改修をするので問題はない。

(委員代理G)

▶ 新湯川の水質改善は、馬越頭首工から取水して古川へ導水し水量を増やすことによって BOD を減らすことになっている。その分、阿賀川本川の水量が減少することになるが、減少分を大川ダムで補給するのか。

(事務局)

▶ 新湯川への導水事業は、本川の水量が豊富で農業用水の利用も満足している場合に限り、余分な水量を導水することになっている。また、BOD 基準値の達成は、会津若松市

(委員H)

- ▶ 渇水対策として大川ダムの操作規則の見直しによる渇水補給能力の増大には、洪水期の制限水位を高めに運用することから、当然限界がある。治水と利水の関係は、裏腹であるので、渇水補給ということで治水容量を活用するのであれば、治水側における既設ダムの有効利用の方策となるのではないか。
- ▶ また、水利権量の内訳で、発電用水は農業用水と異なり、水を消費することはないので、説明図として不適切である。水利権模式図は、大川ダムまで含めて整理したほうが良いのではないか。

(事務局)

▶ 既設ダムの有効活用については、電力側と協議していく。また、渇水補給での利用については、ダムを効果的に活用し治水の安全度を高めるという表現を付け加える。

以上

平成21年7月 国土交通省 北陸地方整備局

検討着手段階

- ・今後の整備計画策定の取り組みについて住民へ知らせる。
- ・今後の阿賀野川に対する幅広い意見をもらう。
- →課題、議論の方向性について骨子策定時の参考とする。

★実施内容

- ・集客施設でのパネル展実施(アンケートの実施)
- ・事務所ホームページでのアンケート実施
- ・記者発表、自治体広報誌への掲載
- ・沿川市町村へのアンケート配布

集客施設でのパネル展実施(アンケートの実施)

開催日時 平成21年3月1日(日)10:00~17:00

場 アピタ会津若松店

形態 パネル展示

内 容 ①阿賀川の現状と課題(自治体懇談会PPTベース)の展示

②阿賀川流域紹介DVDの放映

③アンケートの配布、記載のお願い







説明会開催状況

アンケート

アンケートの実施

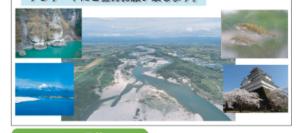
- ・パネル展及び沿川市 町村へ配布
- ·266名分の回答あり。 (最終期限は4/8)



阿賀野川水系の川づくりについて 皆様のご意見を募集します。

国土交通省北陸地方整備局では、これからの開資野川水系阿賀川(大川ダム、日橋川、 新潟川を含む)の川づくりに向けて、住民の管様からご繁見をお聞きしています。

アンケートにご協力お願い致します。



アンケートの目的

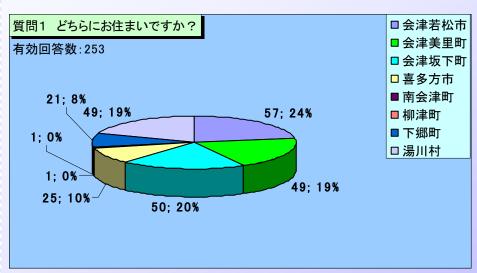
平成19年11月に、阿賀川の川づくり に関する基本方針(阿醛野川水系河川整 機器本方針)が定められました。同間川 では、今後、この河川整構基本方針に基 づいて、具体的な整備計画(阿賀野川水 系河川鑑備計画)を常定することとして おります。このため、護様から広く意見 をお開きし、計画等定の参考とさせてい ただぎたいと考えております。

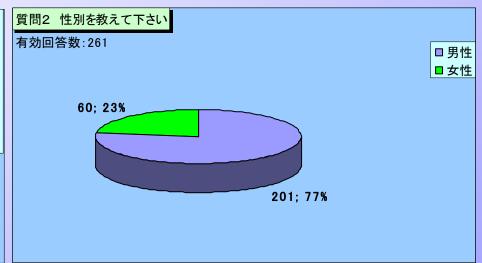
ぜひ、皆様の川に関する思い・意見な どをお寄せください。

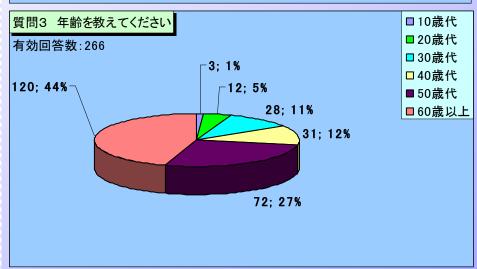
国土交通省 北陸地方整備局

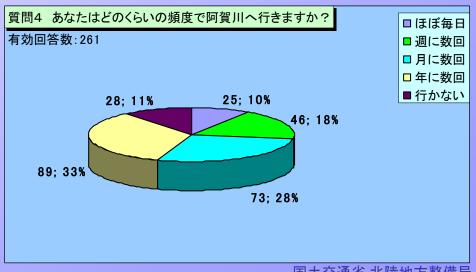
河川整備計画とは

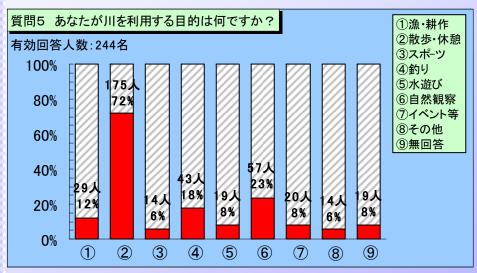
概ね20~30年における阿賀川の整備内容として、「災害発生の防止・軽減」、「河川環境の整備・ 保全」、「河川の適正な利用」などについて、具体的な内容を定めるものです。

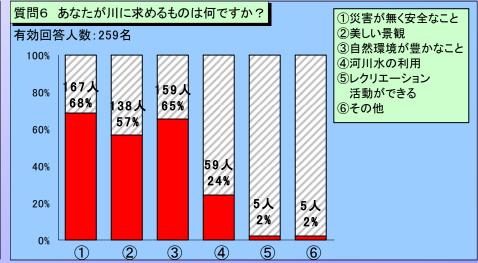


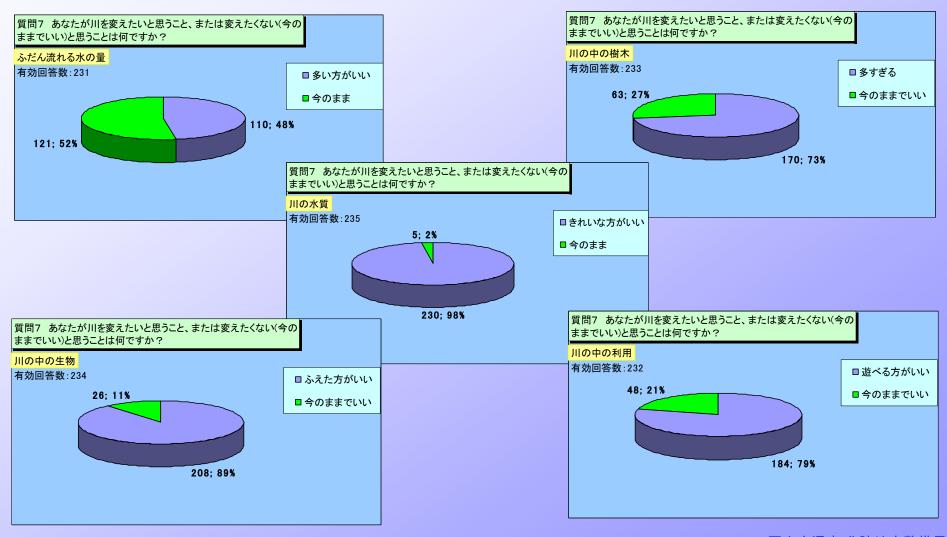












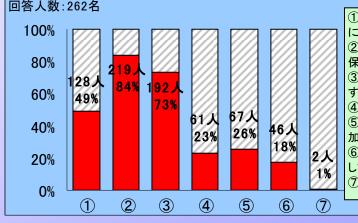
アンケートの集計結果(最終報告:4月8日集計分)

質問8 治水対策として、河川事務所では次のような課題を考えていますが、あなたが重要だと思うことは何ですか?



- ①洪水に対する安全度 を上げる
- ②川の中の樹木を伐採 して減らす
- ③堤防の浸透対 策を行う
- ④洪水情報を早く分かり 易く伝える
- ⑤日頃から災害に備える ⑥災実発生時まげやく
- ⑥災害発生時すばやく 対応する
- ⑦ダムをもっと活用する
- ⑧その他

質問9 河川利用や環境について、河川事務所では次のような課題 を考えていますが、あなたが重要だと思うことは何ですか?

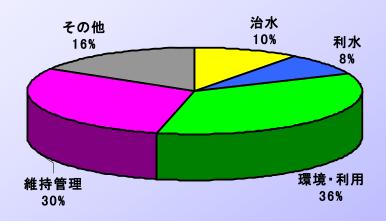


- ①渇水が少なくなるようにする
- ③水質をできるだけよく する
- ④川を利用し易くする ⑤住民に河川管理に参加してもらう
- ⑥住民に川づくりに参加 してもらう
- ⑦その他

アンケートの集計結果(最終報告:4月8日集計分)

その他の主な意見

□治水
■利水
□環境・利用
■維持管理
■その他





大分類	小分類	自由意見の内容
	改修方法等	人の手を入れないで下さい。何もしないで自然のままでよい。よけいな金を使うな。
		最近、蟹川橋付近の自然環境が壊され整備されてしまった。川の中州には、自然に草木が繁茂し、たぬきなどの生息が確認されましたが、あれだけ砂利を敷き詰め木を切ってしまえばたくさんの小動物達のエサ場と住みかを失ってしまう。あのような開発はやめるべきです。
		コンクリート.ブロックによる護岸工事をさける。
		テレビ等の報道によると、冶水対策を行う時、地域の人は対策をしてもらいたいと言っているのに、別の地域の人が遠くから来て、環境対策や自然破壊と言って抗議(反対)している。ちょっとおかしいと思う。地域人は、必要としているのに他の地域から来て反対している。この矛盾を解決しないと前に進む事は出来ないのでは・・ないかと思う。生活と自然どちらも大切だから。行政のリーダーシップがより求められる時にように思います。
治水		私は、65歳、河川モニター経験済です。会青橋のそばの青津に在住です。昭和25~30年頃は水遊び、砂利とり等、沢山の人 達が川の恩恵を受けて生活していました。現在は、堆積物が多くて樹木が沢山あり見苦しい。川の機能を果していず役所の怠 慢である。青津地区は最下流にて上流程の親水設備もなく洪水だけに見舞われ納得出来ないのです。(回答求む)
	堤防整備	阿賀川に架かっている宮古橋の近くに住んでいるので、洪水時の安全が気がかりです。洪水から住民を守ると言う点が一番大切だと考えます。昭和の初期、堤防の決壊を二度経験していますので・・・・新潟県の様に、堤防の幅員をもう少し広くして安全度を高めたら良いと思います。地域住民との対話も必要だと思う。
		近くの住民は春の訪れを楽しみにしています。今年は行って見ると無惨なありように息をのみました。 堤防整備は大事ですか?環境にやさしい工事を是非思慮して欲しいものです。川づくりは安心、安全をテーマにされているのですから、地区民の声も聞くべきではないでしょうか。
		①洪水による堤防決壊の防止
	ハザードマップ	洪水ハザードマップの各戸配布(災害時の避難場所、連絡網一覧表含めて)
	1 * ル /K <i>A</i> 田 1 占	幾度もの大洪水に見舞われ耕地を失い、その災害は甚大なものがある。ただただ、泣き寝入りで終わってしまっている状態だ が何か、補償対策な物が出来ないだろうか。いつも思っておます。

大分類	小分類	自由意見の内容
		地域に対応したダム建設は、賛成であるが事後対策が悪いため、下流の河川は荒れ放題、魚は生息出来ない有様、生息している魚は、外来種の魚だけにしまうのでは・・・・・。ダム建設の際は、流水する時の浄化対策を第一に考慮されたい。
		洪水時、汚れた水(ヘドロ水)が1ヶ月近く続くので、水が死んだ状態になって、魚の生態系が変わっている。水質の浄化を考えて放流してほしい。
		・河川内の整備、水の水質 ・河川のゴミ清掃
	利水	今の大川の水は、とにかく汚れています。魚が住めないほど汚れています。昔は、カジカや沢山の魚がいっぱいいました。今は、魚がどこに居るか分らないほどです。綺麗な川であってほしいです。
利水		「川」だけを整備しても水質は良くならないと思います。隣接の市町村の①下水道、農集排の整備、並びに②住民の環境に対する意識(生活排水)、(農薬散布)①を整備する事が「水質」を良くする。そして私達が②を実践する事だと思います。 ・村田橋から立川橋の幅員は、中途半端に拡幅しない方がいいとおもいます。 ・のんびりと磐梯山&飯豊山を眺めながらのウォーキングやサイクリングロードになれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		生活廃水対策、不法投棄等にも自治体との協力が必要である。下水道の整備
		渇水時のダムの運用を見直してほしい。
		水量や水位をやたらに減らさないで下さい。今回の工事で、渇水し生活に異常をきたす。昔から地域の川なのです。川の水を 吸み上げないで下さい。水量を多くしてほしい。ダム湖の上方水位の暖かい水を流してほしい。中通り地方に水をくれないで (持っていかないで)ほしい。→水量の減量防止 人が入るとゴミと犬のフンだらけになる。

大分類	小分類	自由意見の内容
人万領	小万領	
環境・利用	河川空間の整備	スポーツ広場や公園など増やしてほしいですね。 周りにブロック等をもうけてほしいと思う 川の周りがさびしいところが多い。公園等川へのアクセスが気軽にできる場所を増やしてほしい。 津尻地内の河川拡幅改修後の安全を確保しながら遊歩道整備をお願いします。 堤防は、緊急の車以外通らない様に、散歩、サイクリングロードにして頂きたい。子供達から大人の健康増進に活がして頂きたい。宮古橋の上流川の中の樹木を切り払って頂きたい。 堤防沿いの道路利用を危険回避や、環境保全上より、自動車利用を自転車利用型へ変えて、地域の安全へ配慮する。但し、特定作業車等は除いて 若郷湖周辺の整備がまだまだ悪く、考える必要あり。 河川敷の活用(スポーツクラブ等)の場所にトイレの設置/飲料水施設の設置があるともっと活用できる。 又、日陰のための樹木の植栽も願いたい。
		河川敷の利用方法をピーアールしてほしい。地域で保全し活用する場所として子供たちに楽しい遊び場としてほしい。地域ごとの昔からの川に関する話や遊び場を伝える機会を作ることが必要です。 提案掘削しながら 1.中州を両岸に移動〜堤防の保護となるし、法尻が広くなり広場ができることにより色々な活動、利用ができる。 2.堤防等の野焼きの実施 春先になると、必ずと言っていいほど大騒ぎとなり、消防車出動が余儀なくされる。事前に野焼きをすることにより、小木等もゴミ・焼失され、消防車の出動も解消される。方法は、各集落に委託か、専門員を配置し、腕章集の貸手に野焼きをさせる。種々の問題は生じましょうが、是非前向きに検討して実施して下さい。河川の活用の方法(有効な) ①昔は川に相当な頻度で親しみをもって行き、遊び利用出来ましたが、大川ダムが出来てそれが出来なくなりました。②ダムの近隣集落として、新たな有効利用が出来て、賑わいのある活性化が図られるものに願うものです。 日頃より貴所関係機関の御努力には敬意を表します。河川の残余地の利用等、ダム設置による治水の完備の結果と思われますが、広大な河川敷を有効に利用できるなは大変有難く思います。ただ、むやみに河川敷内に遊具や建造物を持ち込まないでほしいと思います。自然のままであってほしいです。昔は良かったな、なんて考させないでほしいです。・河川内に、活動する場所や遊べる場所を作れば人が集まるし、ゴミも多く出ると思うので私は、このような場所は無用と思う。・この間は、農業用水や水道水などに利用できれば〇?
	桜の植樹	桜の木があったらいいと思う。 堤防に桜を植え、川と名所を期待したい。 ①河川土堤の公園化、桜の木を植えては地域住民の憩いの場にしては。②屋外運動場、あくまであまり建物又高価な設備にしない。※マラソン、ウォーキング、サイクリング、ソフトボール、バトミントン、老人の球戯場、その他。③花火大会等、その他色々。④川魚の釣り場作り、特に子供たちの。 堤防付近に桜並木等施し観光会津等に供しては如何。 遊歩道が整備されてますが、その周辺に桜の木を植えるのは駄目でしょうか?災害の邪魔にならない程度にです。河の岸辺にゴミが多いです。流れの邪魔になっている所があります。 。美しい景観を作る要素の一つに、堤防外側に樹木(桜)を植栽出来る条件などあったら知りたい。。河川にいったら、日陰(木陰)の休憩所がほしい。

大分類	小分類	自由意見の内容
維持管理		1. 中州の樹木伐採促進。 2. 高水敷(レクリエーション広場)の植樹許可の緩和。 ・四国、四万十川の様な沈下橋を架設してはいかがか?会津鉄道門田駅南~会津美里町大石・河川敷の柳の木を伐採しない理由は何か?鳥か熊のため?みぐさい風景です。 川の中の樹木が太くなり、又多いので伐採して下さい。 川の中の樹木が多く、熊や小動物の住家になる。年次計画で伐採して欲しい。景観も良くなる。 ※阿賀川の樹木、土砂等が多い事。水の流れが悪くなっている様に思われる。 ※川賀川の樹木、土砂等が多い事。水の流れが悪くなっている様に思われる。 ※川町里、日夜の働きでご苦労様です。お礼申し上げます。 ①河川敷地内の樹木を伐採してほしい(流水と美を考え適切に) ②堤防の草刈は、早めに側清まで No.9の問題ですが、環境の保全は確かに必要ですが、25年位前は、今のような雑木は繁茂してなかっと思います。今では、河川だか森林だか区別がつかぬ様です。聞く所によると、ある団体の(エゴ)的反対の為に改良できないと聞いていますが本当ですか? 河川の中の立木を切るのに受鳥団体の意見を聞くことは、河川本来の目的達成とは全く無関係のことと思う。(河川の中には、水の流れを邪魔するものは必要ない) 会津盆地は自然の調整地である。猪苗代湖、そして大川ダム、東山ダムの完成で、洪水時の安全性な、大巾にアップしたと思われる。しかし、現状の河川は樹木が多すぎて洪水時に書があるのみばかりでなく、子供達には、河川とは林なりとしか理解出来ないのでは?河川敷の樹木の伐採を是非やって下さい。河川の樹木の定期的な伐採をお願いしたい。 最近樹木を伐採しないため、ハクビシン等が被害を与えている。早急に対策を講じてもらいたい。 川の中の樹木を適切に除去。過度の蛇行を修正し、両岸がえぐられる事の無いようにしてほしい。 河川敷の中の樹木や、ヨシ、雑草が多くなり、農作物の害虫の発生源となっている。 川画庫の雑木、樹木を伐採し、根さ電が増をする、6 市民参加で行う)川幅を広げる様に樹木を伐採し、根さ電棚と超さいと考えられる。 2野鳥の住みかは、ヨシ等もあるので問題ないと考えられる。

大分類	小分類	自由意見の内容
		自然環境保護のため、まずはゴミの持ち帰りを徹底してもらうように活動していただきたい。
		柳原地区の土手より磐梯山を眺望は最高であるが川に中の柳木が大きく成って、余りにも多く又ゴミが多く、非常に景観に悪いです。我が町内会でも年2回の湯川清掃に協力をしていますが、なかなか清流れにはまだまだほぼ遠いですね。私の意見ですが、北側の中段に桜の木を植えて桜満開をバックに眺望できたら最高であろうな?若松の桜の名勝に成る事でしょう。
		川づくり、ゴミ拾いに参加したいと思いますが、場所が遠い、トイレが無いなど、なかなか参加しづらいです。遠くからできるといえば、やはり募金くらいでしょうか、、、。
		河川敷に突如としてゴミが発生する。臨機応変に対応してほしい。堤防にもっと木々がほしい。
	ゴミ問題	坂下町下流に生活しているものですが、釣りに行くと河川にゴミが多く流れて来ます。特にビニールくず、缶ジュース、ペットボトル、たまにはタイヤなど流れて来ます。一人一人が注意してもらいたい。よろしくお願いします。
		7月に行っているクリンアップ作戦を春先(3月頃)に行ったらどうですか。
		新湯川の下流近くに住んでおりますが、河川にゴミが多く、水質が良いとは思いません。もっと多く、清掃等が必要ではないでしょうか。
維持管理		阿賀川下流の集落ですが、ゴミ類が流れて岸辺に寄って、環境的にも良くないと思います。今後は、パトロールを強化し河川清 流の為、ご尽力下さる様お願い致します。
12772		見えない所に、ゴミが多数あります。ゴミのない環境を御願い致します。
		工事施行だけでなく、毎年の管理、清掃を行う事。
		私は堤防上をウォーキングしている者ですが、堤防上にゴミを不法投棄する量が多く、歩いていて不快な気持になってしまいます。こう言う事になると言う事は、普通の一般道路と思って通るからではないでしょうか。何か規制できないでしょうか。対策をお願いするものです。
		①河川敷へのゴミの不法投棄は、目に余る。 せっかく整備されても車が進入してくる場所は散乱したゴミで汚されてしまう。モラルの向上に期待するしかないのかもしれないがそれにしても百年河清を俟つがごとし・・・・・。解決策はやはりアンケートの質問9の5・6を地道にやるしかないのかも。 ②堤防に桜の木を植栽してはどうでしょうか。堤防も強化されるし、景観も良くなる。
	自然環境管理	昔は、堤防内側にすばらしいヨシ原があった。今はその姿がない。昔は、住民参加でヨシ刈りをし、春先には、野火つけして新鮮な新芽をふかせていた。今は野火つけすればたちまちお目玉をくう。雑草にまかれたあれほどの良質なヨシは姿なし。従って、ヨシキリの囀りもなし。自然環境管理の方法に問題があると思う。自然を呼びもどすためには、昔のやり方を生かせば、数年で回復するであろう。

大分類	小分類	自由意見の内容
		川は永く在る。永く在る川をつくって下さい。 きれいな阿賀川が、いつまでもあるように活動していかなければならない。
		川を見ると、何となく心が広く豊かになるような気がします。美しい川をずっと続けて行けるよう頑張って下さい。
	川りくりの空心	先人の労苦に感謝し、より以上にして子孫に残す事ではないでしょうか。
		堤防が、改着され遊歩道が出来、景観もよく、毎日の散歩も気持ち良く大変感謝してます。子供たちが安心して遊べるような河 川にしてほしいと思います。これからも環境のよい川づくり宜しくお願いします。
		アンケート用紙が良い紙すぎるコスト縮減は? 阿賀川だけでなく、そこに流れこむ河川の整備も一緒に考えるべきではないか?
		意見等を川づくりに生かしてほしい。 地域住民の、要望意見を同じ目線で対応して頂いている事に感謝しています。
		地域住民の、安全息見を向し日禄で対応して頂いている事に診測しています。 素晴らしい基本理念達成の為、今後供、さらなる御活躍を祈っております。
その他	広報活動	HP見ました。良く出来ていると思いますが、声による広報を御願いします。(HPは、作る方は唯一のものですが、アクセスする方は無数にある中の一つですので、あまり情報が伝わるとは思われません)里山的な自然保護(人手をかけるけれど重機に頼らない)をお願いします。堤防に、利便性を求めない様にしてほしい。
		河川事務所は、活動している内容を皆にもっと知ってもらっては?私も何をしている所かあまり良くわかりません。
	海太利田	大川ダム、流木チップの件 現在は、どの様な方法を実施しているか知りませんが3年位前は、一人で軽トラ、何回も又大きなトラックで運搬している人が見 受けられたが、均等に多くの人に分けて頂きたい。それには、配布日を「市政だより」にて知らせて下さい。又その他、袋に入れ て販売するのも良いと思います。(例)一袋50円~100円位で
	その他	年に数回川に行く。 河川に興味がある。
		行かない。
		川は私達生活です。いつまでも大切にしたいと思います。

26

サ

型維持管理の実

阿賀野川水系(阿賀川)河川整備計画の目標設定と計画メニューの骨子(案)について

項目

整備計画目標

【戦後最大規模の洪水を安全に流下させるための対応】

阿賀川の洪水氾濫から沿川地域を防護するため、戦後最大洪水に相当する規模の洪水を 計画高水位(H.W.L.)以下で安全に流下させる。

【堤防の安全性の確保】

堤防の浸透に対する安全性及び河岸浸食・河床洗掘による危険箇所の対策を実施し、堤防 及び河岸の安全性を確保する。

【減災への取り組み】

水害時の被害軽減のため、防災拠点の整備、防災情報の高度化・提供、洪水ハザードマップ 作成の支援、水防活動支援等のソフト面での対策を地域と連携して進める

【流水の正常な機能の維持】

阿賀川の流水の正常な機能を維持するための水量について調査検討を進めるとともに、渇 水時においてその水量が確保されるよう、関係機関の合理的な水利用の促進、大川ダムの効 率的な運用を図る。

【良好な水質の維持及び改善】

阿賀川、日橋川、新湯川の水利用及び河川利用の現状を踏まえ、当面の目標を環境基準と し、引き続き継続的な水質モニタリングを実施し、関係機関との連携により、良好な水質の維 持に努める。

【「阿賀川らしさ」を形成している河川環境の保全と再生】

生物の多様な生息・生育環境を形成する阿賀川らしい自然環境及び自然景観の保全、再生 を行う。

【河川空間の利活用、連携・協働による川づくり、河川管理の促進】

地域住民や自治体、NPOなどと連携し、地域の文化・歴史と一体となった川づくり、河川空間 の利活用・河川環境保護活動を推進し、住民参加型の河川管理を促進する。

工事の実施に関す る事項

- (1) 下流狭窄部改修(長井地区) ② 弱小堤対策(堤防の完成化)
- ③ 湯川洗堰改築 ④ 支川合流点処理
- ⑤ 堤防の質的整備

⑥水衝部対策

⑦ 防災拠点の整備

- 12 河道の維持管理
- ·樹木管理 河道堆積土砂の除去

維持管理に関する事項

- (13) 河川の巡視・点検、調査
- (14) 河川管理施設等の点検・ 維持管理

- ⑤ 防災情報の高度化・提供
- (16) 洪水ハザードマップ作成支援
- (7) 水防活動支援の継続 (水防訓練、排水ポンプ車対応)
- 18 流況等のモニタリング (河川環境保全のための必要な流 量の調査検討等)
- 19 関係水利使用者との渇水調整 ② 大川ダムによる渇水補給
- ② 水質調査の継続実施等
- ② 水質事故時の対応
- ② 湯川等における水質改善
- ⑧ 多自然川づくりの実施
- 9 自然再生事業の推進
- 10 工事による環境への影響 軽減
- (11) 地域の文化・歴史と一体と なった川づくり
 - ・かわまちづくり支援事業の 推進
 - ・地域の交流拠点整備の 支援

24 環境モニタリング

- ② 地域との連携・協働による河川管理
 - ・市民団体との連携・支援・育成
 - ・小学校等の環境学習との連携
 - ・イベントや環境学習を通じた情報
 - ボランティアサポートプログラム等 の活用

本来もっている機能を十分発揮できるような良好な状態を継続させる。効果的かつ効率的な維持管理を実施し、堤防や樋門等の河川管理施設、【阿賀川の維持管理に関する目標】 持管理を実施し

河道及び河川空間が

阿賀野川水系阿賀川河川整備計画 骨子(案)について

平成21年7月 国土交通省 北陸地方整備局

阿賀川河川整備計画

- 第1章 流域の概要
- 第2章 河川の現状と課題
- 第3章 河川整備の目標に関する事項
 - 第1節 河川整備の基本理念
 - 第2節 計画対象区間
 - 第3節 計画対象期間

今回議論して頂く事項

- 第4節 洪水による災害の防止又は軽減に関する目標
- 第5節 流水の適切な利用及び正常な機能の維持に関する目標
- 第6節 河川環境の整備と保全に関する目標

第4章 河川整備の実施に関する事項

- 第1節 河川の整備の実施に関する基本的事項
- 第2節 河川工事の目的、種類及び施工の場所並びに当該河川工事の施工

により設置される河川管理施設の機能の概要

第3節 河川の維持の目的、種類及び施工の場所

1. 洪水による災害の防止又は軽減 (治水)に関する事項

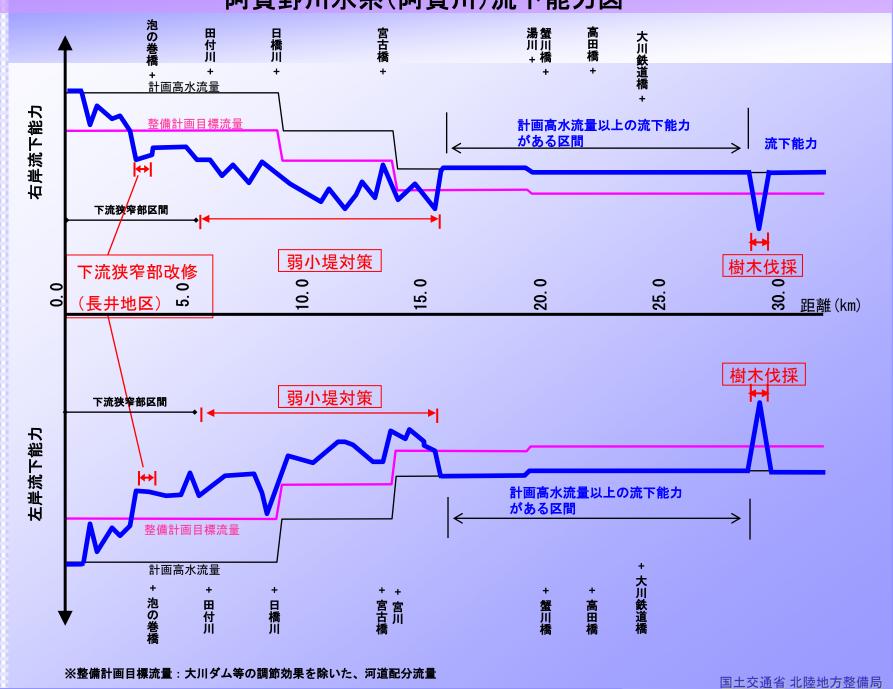
- (1)戦後最大規模の洪水を安全に流下させるための対応
- (2)堤防の安全性の確保
- (3)減災への取り組み

(1)戦後最大規模の洪水を安全に流下させるための対応

阿賀川の洪水氾濫から沿川地域を防護するため、戦後最大洪水に相当する規模の洪水を計画高水位(H. W. L)以下で安全に流下させる。

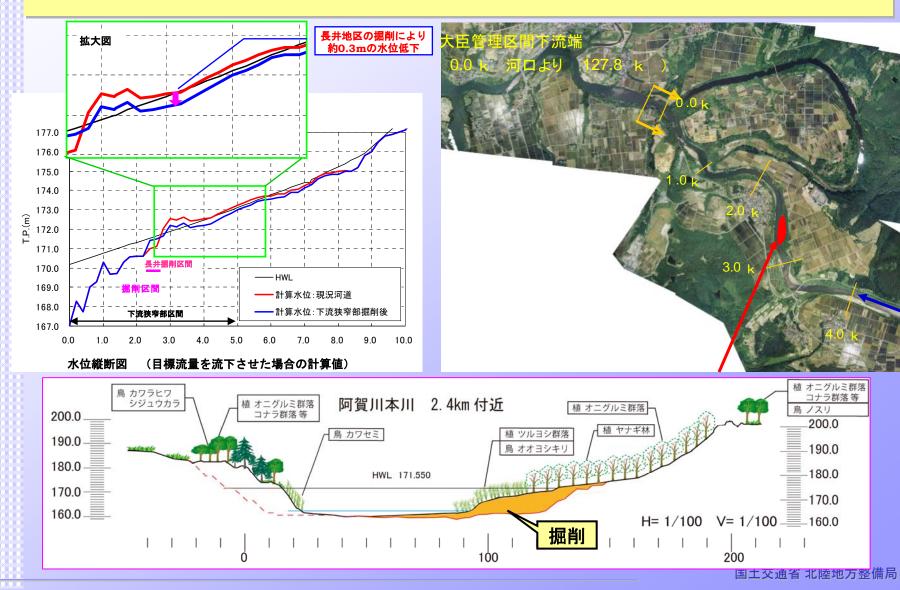
- ①下流狭窄部改修(長井地区)
- ②弱小堤対策(堤防の完成化)
- ③湯川洗堰改築
- ④ 支川合流点処理

阿賀野川水系(阿賀川)流下能力図



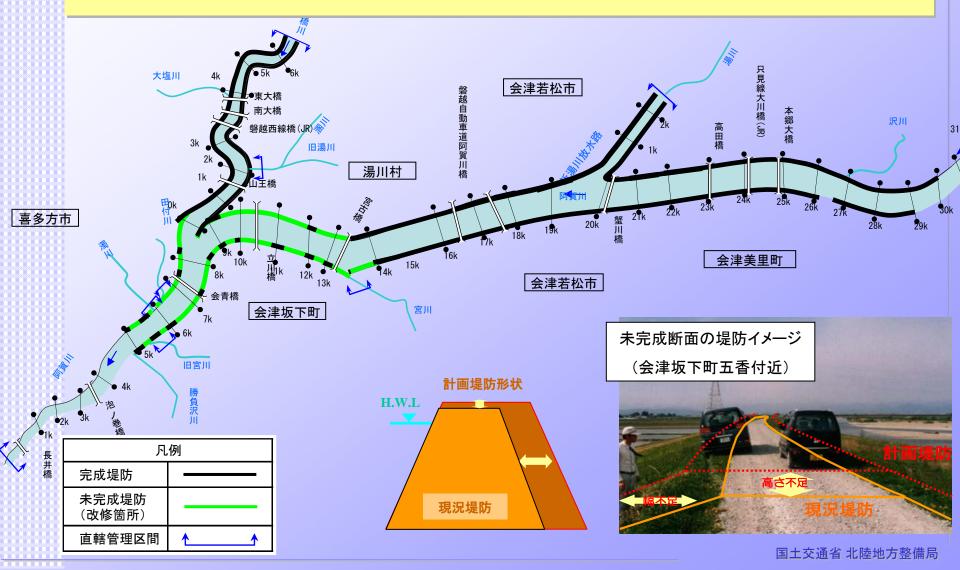
①下流狭窄部改修(長井地区)

長井地区の河道掘削を行うことにより、河川断面を確保し、上流側の有堤部区間の水位を低下させる。



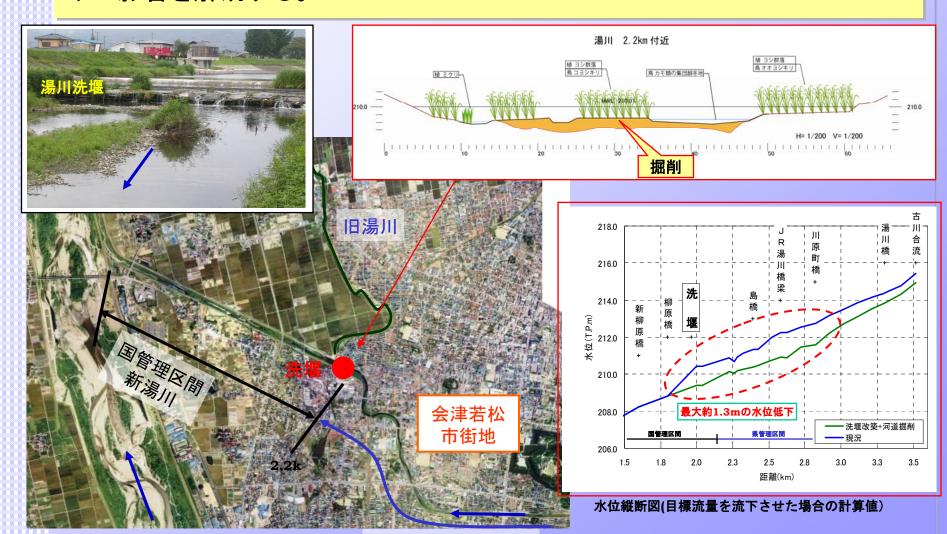
②弱小堤対策(堤防の完成化)

堤防の幅・高さの不足する区間で、堤防拡幅、嵩上げを実施し、未完成堤防を完成堤防化する。



③湯川洗堰改築

湯川洗堰の改築及び洗堰上流部の河道掘削により、上流への水位せき上げの影響を解消する。



④支川合流点処理

濁川の支川合流点部の河道掘削を行う。

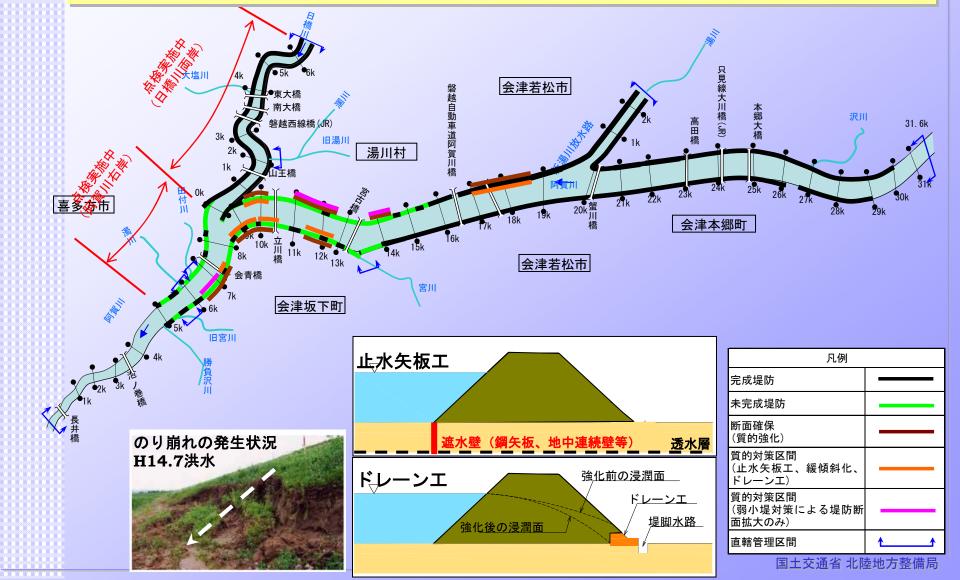


(2) 堤防の安全性の確保

- ・堤防の浸透に対する危険箇所の対策(質的整備)を行うことによって、堤防の安全性を確保する。
- ・河岸浸食・河床洗掘による危険箇所の対策(水衝部対策)を 行うことにより、河岸の安全性を確保する。
 - ⑤ 堤防の質的整備
 - ⑥水衝部対策

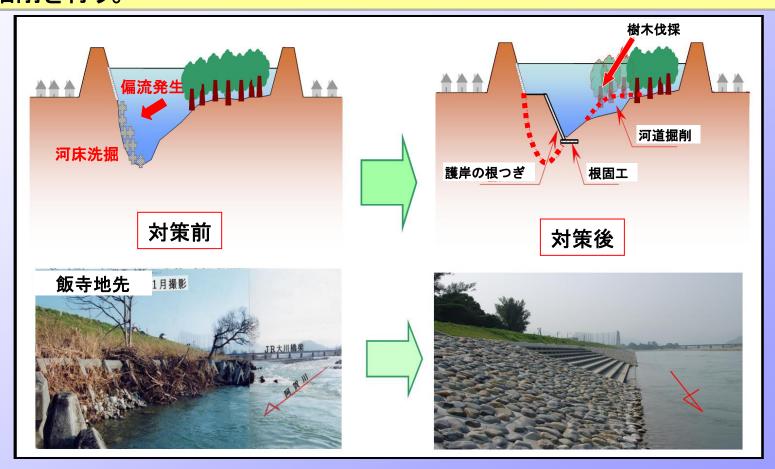
⑤堤防の質的整備

堤防の浸透に対する詳細点検結果をもとに、パイピング破壊やすべり破壊 に対する安全性が確保されていない箇所について、対策を実施する。



⑥水衝部対策

河岸侵食や河床洗掘に対する安全度を高水敷幅や護岸基礎高から評価し、 安全性が確保されていない箇所について、護岸の根継ぎ工、根固対策、河 道掘削を行う。



水衝部対策の一例(会津若松市飯寺地先)

(3)減災への取り組み

水害時の被害軽減のため、防災拠点の整備、防災情報の高度化・提供、洪水ハザードマップ作成の支援、水防活動支援等のソフト面での対策を地域と連携して進める

- ⑦防災拠点の整備
- ⑤ 防災情報の高度化・提供
- ⑩洪水ハザードマップ作成支援
- ①水防活動支援の継続(水防訓練、排水ポンプ車対応)

⑦防災拠点の整備

洪水時の水防活動や破堤等の大規模災害が発生した場合の緊急復旧活動を行うための広域的な活動拠点、また、資機材の備蓄や建設機械の活動場所を確保するための拠点として、関係機関(町村)と連携し、防災ステーションの整備を行う。





⑤防災情報の高度化・提供

洪水時に円滑な水防活動や避難を行うため、水位や現地画像等のリアルタイムの情報を地域住民に発信するとともに、関係機関で情報の共有化を行う。 また、光ケーブル網の整備を促進し、河川管理の高度化を図る。



光ケーブル整備系統図



湯川情報板



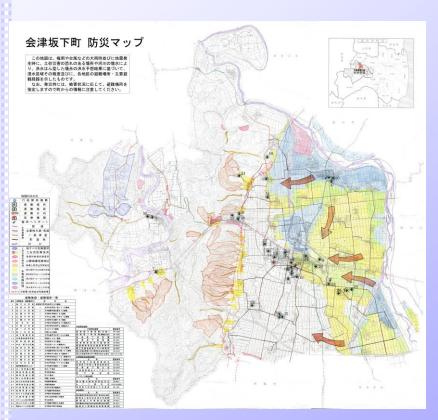
湯川CCTV

情報通信技術を利用した整備の状況

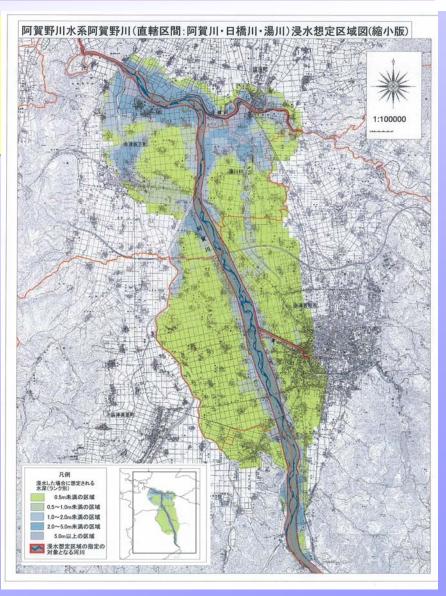
整備項目	現在
光ファイバー網	51.9km ▪管理区間:38.2k ▪接続等 :13.7k
光ファイバー網 接続市町村	会津若松市 喜多方市 会津美里町
CCTV整備	35箇所
情報コンセント	38箇所

⑥洪水ハザードマップ作成支援

- ・湯川の浸水想定区域図の公表
- ・災害情報協議会の実施
- ・市町村が作成する洪水ハザードマップ(避難情報図)作成の支援



会津坂下町ハザードマップ



阿賀川・日橋川・湯川 浸水想定区域図

⑪水防活動支援の継続

福島県、水防管理団体と連携して、河川合同巡視、情報伝達訓練・水防訓練・水防演習等を行うとともに、浸水被害等が発生した場合には排水ポンプ車等による水防活動支援を継続実施していく。

阿賀川夜間水防訓練

- 実施内容(実施工法)
 木流し工、シート張工、月の輪工、積み土のう工、排水ポンプ車による排水工
- 2. 参加機関

阿賀川水防連絡会(阿賀川河川事務所、福島県土木部、喜多方市 ほか12団体の防災担当者及び消防団員 約400名)



月の輪エ

シート張エ



出水時の支援



排水ポンプ車



照明車

2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

- (1)流水の正常な機能の維持
- (2)良好な水質の維持および改善

(1)流水の正常な機能の維持

阿賀川の流水の正常な機能を維持するための水量について 調査検討を進めるとともに、渇水時においてその水量が確 保されるよう、関係機関の合理的な水利用の促進、大川ダ ムの効率的な運用を図る。

- 18 流況等のモニタリング (河川環境保全のために必要な流量の調査検討等)
- ⑩関係水利使用者との渇水調整
- ⑩ 大川ダムによる渇水補給

⑩流況等のモニタリング(必要流量の調査検討等)

流水の正常な機能を維持するための水量を把握するため、今後も流況調査等を継続実施し、必要流量の検討を行っていく。





馬越観測所; H6.7.20



国土交通省 北陸地方整備局

⑩関係水利使用者との渇水調整

水利用の適正な管理及び広域的・合理的な水利用を図るため、関係機関及 び水利用者との調整を行う。

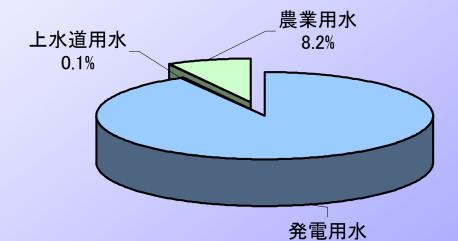




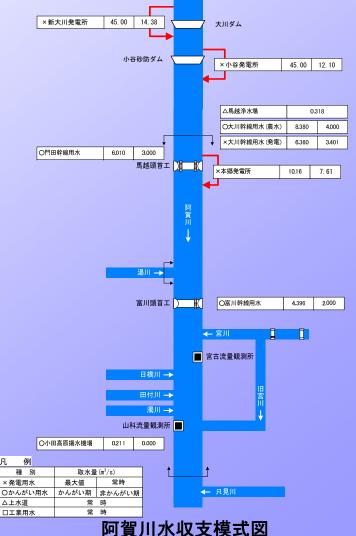
馬越堰堤

冨川堰堤

91.7%



水利権量の内訳



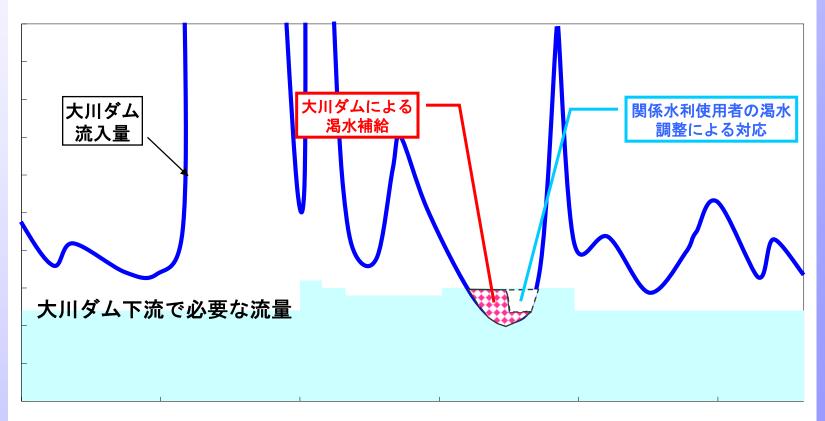
国土交通省 北陸地方整備局

⑩関係水利使用者との渇水調整

⑩大川ダムによる渇水補給

大川ダムの運用方法を見直し、渇水時に下流河川へ補給を行い、流水の正常な機能の維持を図ります。更に、補給を行っても確保できない場合は、関係水利使用者による適切な取水量の調整を行う。

大川ダムによる流況改善のイメージ図



(2) 良好な水質の維持及び改善

- ・継続的な水質モニタリング及び関係機関との連携により、 良好な水質の維持に努める。
- ・湯川等の水質汚濁の著しい支川等では、水質改善を図るため、関係者が一体となった事業展開を推進する。
 - ②水質調査の継続実施等
 - ② 水質事故時の対応
 - ② 湯川等における水質改善

(21)

水質調査の継続実施等

阿賀川本川の水質は、現在、環境基準を満足し良好な状態にあることから、 今後も引き続き定期的な水質調査を実施し監視していく。

(22) 水質事故時の対応

水質事故による利水及び環境への被害を 最小限にとどめるため、「阿賀野川水系水質 汚濁対策連絡協議会」を通じて迅速な情報 伝達を行うとともに、関係機関で連携して水 質事故の被害拡大防止に努める。

また、水質事故対応に必要な資機材を備蓄するとともに、水質自動観測装置の点検・維持管理、水質事故対応訓練を行う。



水質事故時の対応

(23)

湯川等における水質改善

湯川の水質改善を目指し、平成11年度より「水環境整備事業」として、汚泥浚渫、低々水路整備、浄化施設整備、阿賀川本川からの浄化用水導入等を実施してきた。今後は、住民、地元自治体、河川管理者が一体となった事業展開により、水質改善を推進する。

また、水質汚濁の著しい支川等の水質調査を継続実施する。



3. 河川環境の整備と保全

(1)「阿賀川らしさ」を形成している河川環境の保全と再生 (2)河川空間の利活用、連携・協働による川づくり、河川管理 の促進

(1)「阿賀川らしさ」を形成している河川環境の保全と再生

生物の多様な生息・生育環境を形成する阿賀川らしい自然環境及び自然景観の保全、再生を行う。

- ⑧多自然川づくりの実施
- ⑨ 自然再生事業の推進
- ⑩工事による環境への影響軽減
- 24環境モニタリング

⑧多自然川づくりの実施

礫河原、瀬や淵、細流、湧水箇所等の阿賀川らしい自然環境及び多様な河川景観を保全・創出する多自然川づくりを行う。

【高久地区での事例】

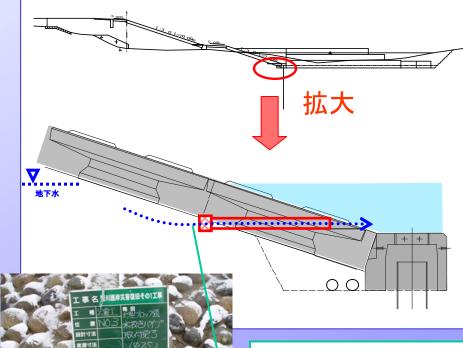
コンクリート護岸→かごマットへ 湧水の保全とイトヨの生息を確認





陸封型イトヨ 湧水の状況

【蟹川地区での事例】

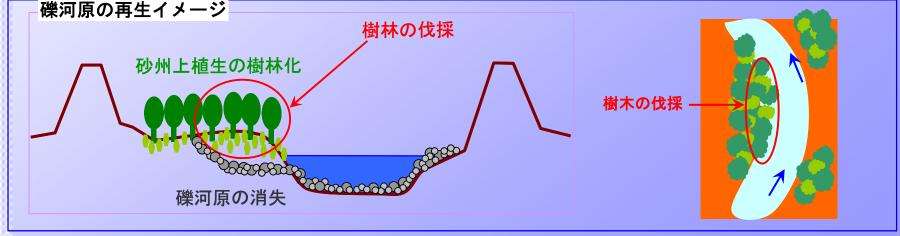


通水孔の設置により、 地下水の流れを確保

9自然再生事業の推進

かつて阿賀川の象徴的な魚類であったアユ、希少種であるウケクチウグイなどが数多く生息していた、瀬や淵、ワンドなど魚類生息環境を保全・再生する。 カワラニガナ、カワラバッタなど礫河原特有の動植物の生育・生息場である、 礫河原の保全・再生を行う。





⑪工事による環境への影響軽減

②4) 環境モニタリング

工事の実施に際しては、環境アドバイザーの助言・指導のもと、事前の環境 調査の基づく保全措置を検討実施し、事後調査により、保全措置の効果を 把握し、工事による環境への影響を軽減する。

1. 自然環境の把握

工事実施に際して、工事箇所および周辺の環境を把握する。

2. 環境保全措置の検討

河道改変を伴う工事等、河川環境に 一定の影響があると予想される場合、 それに対する保全措置を検討する。

3. 環境保全措置の実施

検討した保全措置を実施。

4. 保全措置効果の把握

保全措置が確実に実施されているか、機能しているか確認する。

現地指導等環境アドバイザーからの助言

(2)河川空間の利活用、連携・協働による川づくり、河川管理の促進

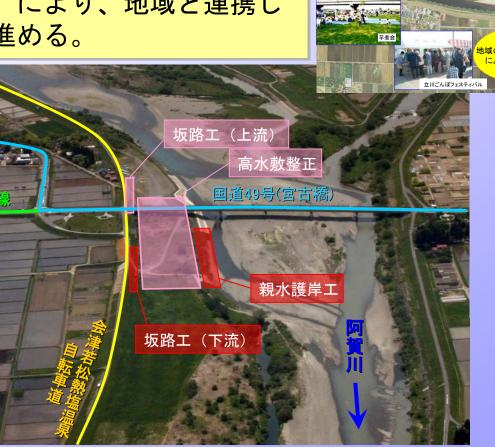
地域住民や自治体、NPOなどと連携し、地域の文化・歴史と一体となった川づくり、河川空間の利活用・河川環境保護活動を推進し、住民参加型の河川管理を促進する。

① 地域の文化・歴史と一体となった川づくり

⑪地域の文化・歴史と一体となった川づくり

国道49号と阿賀川が交差する宮 古橋の右岸において「人の駅、川 の駅、道の駅」拠点整備の構想が あり、これを支援していく。

河川内整備は「かわまちづくり 支援事業」により、地域と連携し て整備を進める。



4. 河川の維持管理に関する事項

(1) 阿賀川の有する機能を充分発揮できる 効率的・効果的な維持管理の実施

(1) 阿賀川の有する機能を充分発揮できる 効率的・効果的な維持管理の実施

効果的かつ効率的な維持管理を実施し、堤防や樋門等の河川管理施設、河道及び河川空間が本来もっている機能を十分発揮できるような良好な状態を継続させる。

- ⑩ 河道の維持管理
- ③ 河川の巡視・点検・調査
- ⑪ 河川管理施設等の点検・維持管理
- ② 地域との連携、協働による河川管理
- ② サイクル型維持管理の実施

②河道の維持管理(樹木管理、河道堆積土砂の除去)

流水の阻害や河川管理上支障となっている箇所の樹木群について、計画的に伐採を行う。樹木伐採にあたっては、環境アドバイザーの助言・指導のもとに、環境に配慮しながら実施する。

日橋川O. 2km(H19年度実施)

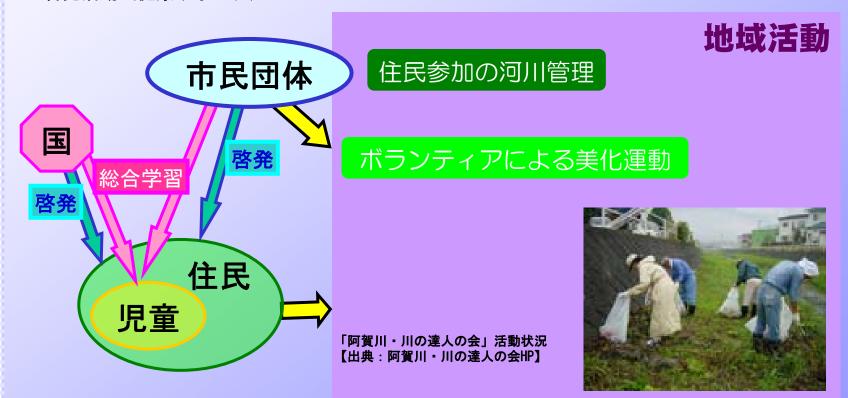




②地域との連携・協働による河川管理

市民団体、非営利機関(NPO)、地域住民及び市民ボランティアの方々の協力を得て河川の維持管理を行い、河川愛護精神の高揚・強化を図る。

- ・住民団体による河川管理(堤防除草)
- ・住民団体による河川美化活動
- ・将来の担い手育成(総合学習支援・会津めだか塾)
- ・啓発活動(健康ウォーク)



26 サイクル型維持管理の実施

阿賀川の河川特性を踏まえ、洪水時や渇水時だけでなく平常時から阿賀川の有する機能が十分に発揮されるよう、河川管理上の重点箇所や実施内容など具体的な維持管理の計画を作成するとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理」により効率的・効果的に実施する。

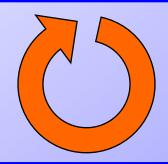
維持管理計画

・各河川の規模や特性に応じて 維持管理計画を作成

改善

【監視、評価に基づき改善】

- •河道管理(樹木伐採等)
- ・堤防、護岸管理(補修等)
- •施設管理(補修•更新等)



評価

【データから状態を評価】

協働実施

地域社会



監視

【データの取得とストック】

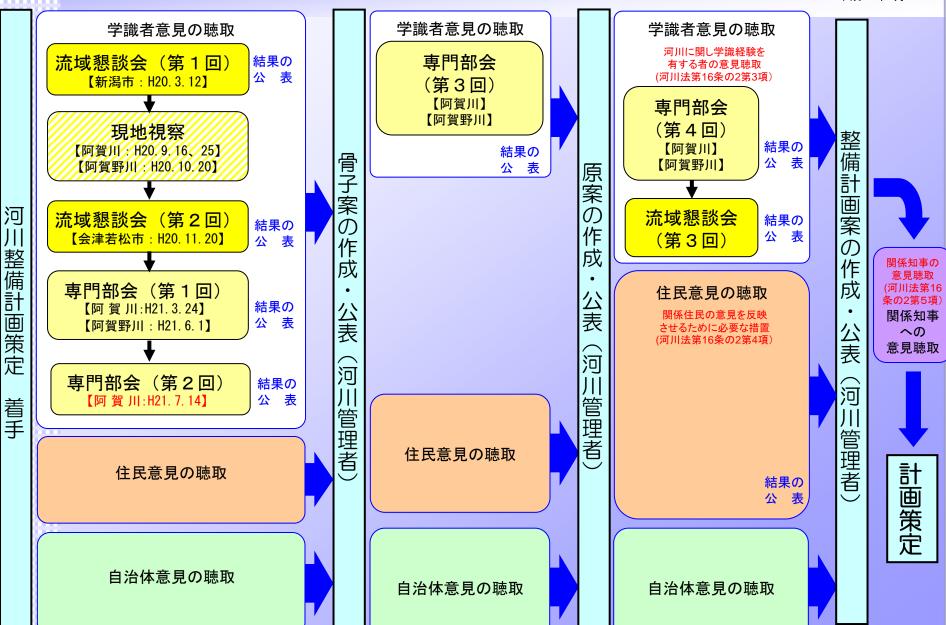
- ·河川巡視、施設点検、流量 観測、測量等
- → 河川カルテ(データベース化)

サイクル型維持管理計画のイメージ

阿賀野川水系河川整備計画の策定フロー

平成21年7月

通省 北陸地方整備局



流水の正常な機能を維持するため必要な流量の設定【上流部】

阿賀野川水系

- ■広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の維持に努める
- ■動植物の生息地又は生育地の状況や流水の清潔の保持、塩害など9項目の検討により維持流量を設定し、水利流量・流入量をあわせた結果、正常流量を宮古地点においてかんがい期概ね3m³/s、非かんがい期概ね7m³/sとする

正常流量の基準点

基準地点は、それぞれ以下の点を勘案し、宮古地点とする。

◆宮古

- 大規模取水後に位置し、流量管理・監視が行いやすい地点
- 過去の水文資料が十分に備わっている地点

正常流量 設定の経緯

上流部

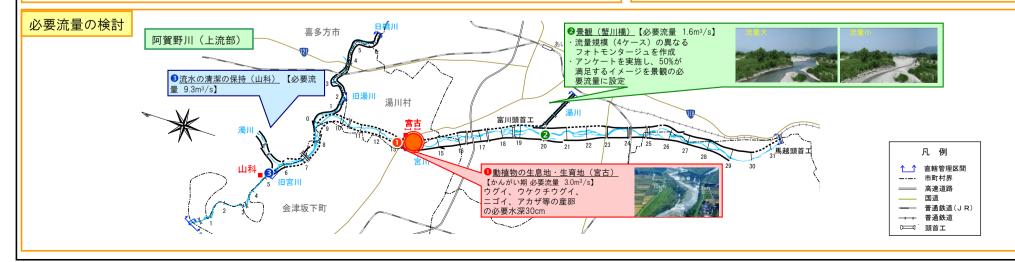
- 昭和53年の大川ダム基本計画変更では、維持流量を検討した結果、1/10渇水流量(宮古地点2.5m³/s)を確保することとした
- 大川ダム建設時、漁協など地元関係者の合意を得た上で維持流量(宮古地点2.5m³/s)を 設定
- 昭和60年の工事実施基本計画改定にあたり、宮古で概ね3m3/sとして正常流量を設定

正常流量の設定 基準点の正常流量は

基準点の正常流量は次のように設定



※阿賀川の過去18年間(昭和63年~平成17年)の宮古地点における、 10年に1回程度の規模の渇水流量は2.69m³/sである



H19.7.11 第71回 阿賀野川水系河川整備基本方針検討小委員会資料より 阿賀川部分を抜粋

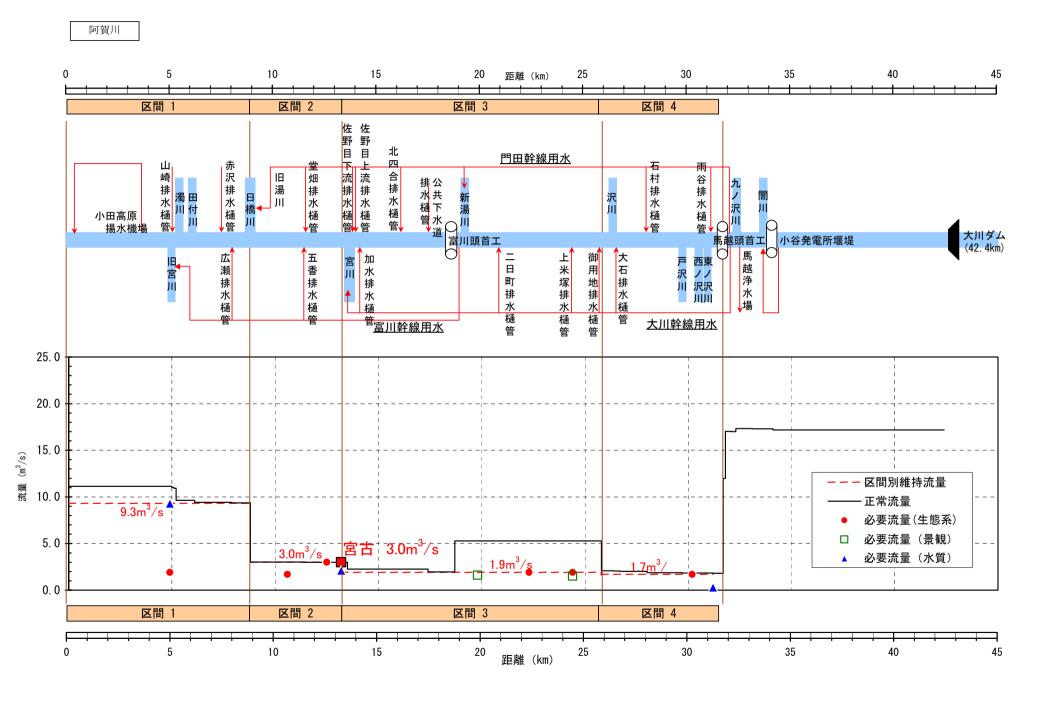


図 6.1(1) 阿賀野川水系 正常流量縦断図(かんがい期)

H19.7.11 第71回 阿賀野川水系河川整備基本方針検討小委員会資料より 阿賀川部分を抜粋

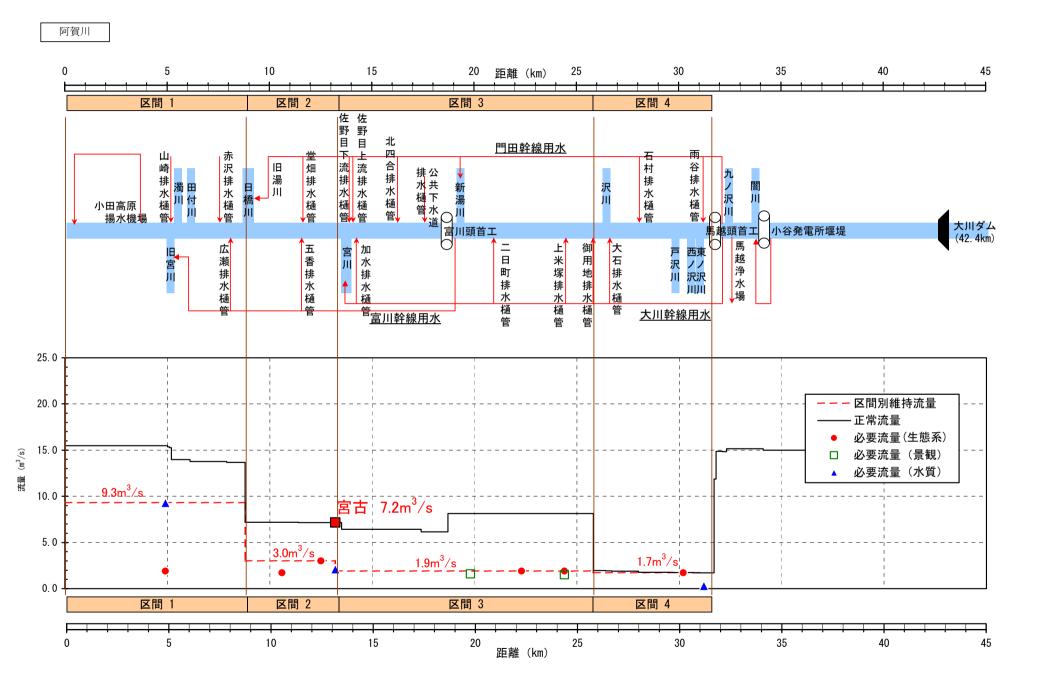


図 6.1(2) 阿賀野川水系 正常流量縦断図(非かんがい期)